

生き生き
学びあうまち
東大和

東やまと 教育委員会だより



第81号

平成31年(2019年)3月11日

発行：東大和市教育委員会

〒207-8585

東大和市中心3-930

TEL 042-563-2111

編集：学校教育部教育総務課

平成30年度文部科学大臣優秀教職員表彰

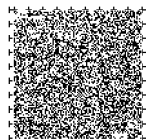


右から、尾崎保夫 市長、大島正聖 主幹教諭、真如昌美 教育長

市長を表敬訪問

東大和市立第三小学校 大島正聖 主幹教諭が、
学校運営(指導力向上・若手育成)の推進で、大変顕著な功績を残しました。

SPコードは専用読取装置で文字情報を音声で聞くことができます。



第10回中学生「東京駅伝」大会出場 —その1秒をけずり出せ!—

平成31年2月3日(日)、アミノバイタルフィールド(味の素スタジアム)・都立武蔵野の森公園特設周回コースにて、区市町村対抗第10回中学生「東京駅伝」大会が開催され、東大和市を代表する男女各21人が参加しました。

東大和市駅伝チームは、市内5校の中学校から選考会を経て選ばれた中学校2年生で構成されました。昨年の12月8日(土)に結団式が行われ、



真如教育長より選手に認定証が手渡されました。

結団式当日には男女両キャプテンともに、「今までの最高記録を更新することを目標とし、全員が一丸となって大会に向かえるように、チームをまとめていきたい」と語っていました。

今年度も、東京都立東大和高等学校陸上部の皆さんにご協力いただき、合同練習会を実施してきました。選手たちは綺麗なフォームで走る高校生の後を追いながらペース配分を体で覚えていきました。

当日は、大声援の中競技が行われ、男子・女子チームともに大健闘でした。男子チームは、目標としていた歴代の記録更新を果たすことができました。チームがひとつとなり、来年にも繋がる大会となりました。



平成31年4月から 市内中学校で「特別支援教室」をスタートします

「特別支援教室」は、通常の学級での学習に概ね参加でき、一部特別な指導を必要とする生徒を対象に生徒の学習上・生活上の困難さの改善・克服のために、週に1~8時間、校内に設置された特別支援教室で巡回指導教員から自立活動の指導を受けられるようにするものです。

特別支援教室の利用に当たっては、学級担任または在籍校の特別支援コーディネーターへご相談ください。

なお、特別支援教室のスタート後も、今まで通り拠点校(第二中学校または第三中学校)に生徒が通級して指導を受ける場合もあります。在籍校の特別支援教室に通うことができない事情がある場合は、在籍校にご相談ください。

問合せ 教育指導課 内線1527

巡回指導教員による指導 *具体例

グループや集団での活動が苦手

人との関わり方(コミュニケーションスキル)について学ぶ

感情をコントロールすることが苦手

他人と良い関係を築き、社会に適応するための能力(ソーシャルスキル)や自己コントロールについて学ぶ

注意集中を持続することが苦手

自分がどのような刺激や環境に弱いのか自己理解を深め、その対処方法などを学ぶ

音読が苦手・書くことが苦手・計算が苦手

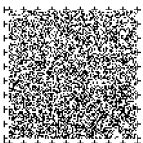
在籍学級での学習を円滑にできるよう、自分に合った学習方法を学ぶ

第38回東大和市立小中学校連合

書き初め展

東大和市では、毎年1月に市内小・中学校の代表児童・生徒による毛筆・硬筆作品約1,200点を展示する「連合書き初め展」を開催しています。

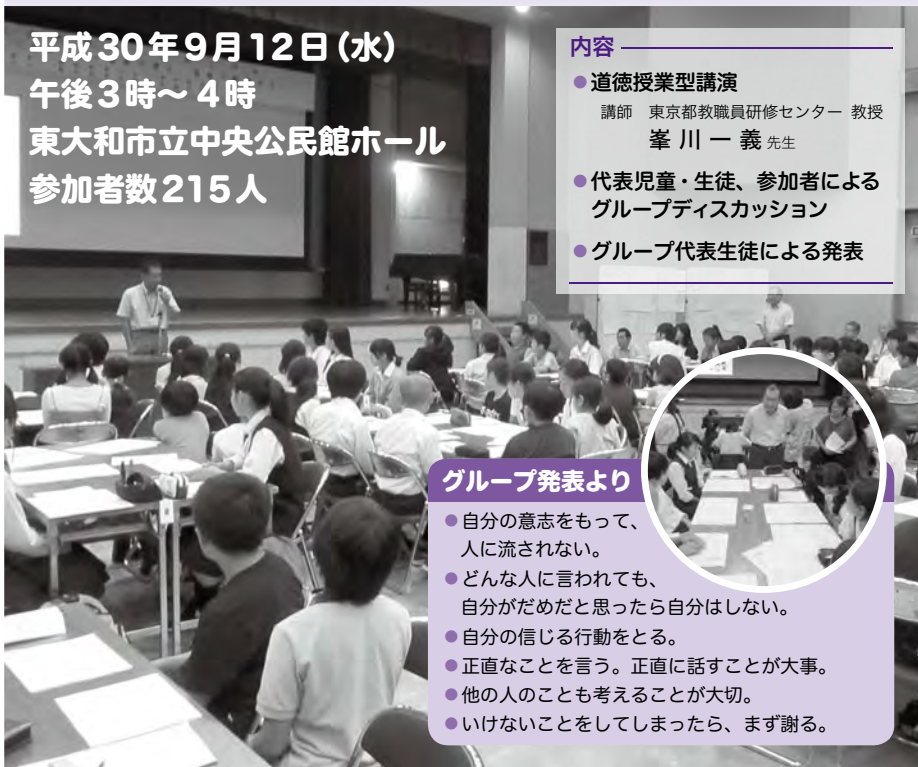
本年も各学校から、心を込めて書いた作品が出品されました。開催当日は、保護者や地域の方など、多くの方が訪れ、盛会のうちに終わることができました。



第7回 いじめ防止のためのシンポジウム

いじめ防止のために、わたしたちにできること～自分で考え、自分で判断する～

平成30年9月12日(水)
午後3時～4時
東大和市立中央公民館ホール
参加者数215人



- 内容**
- 道徳授業型講演
講師 東京都教職員研修センター 教授 峯川一義先生
 - 代表児童・生徒、参加者によるグループディスカッション
 - グループ代表生徒による発表

グループ発表より

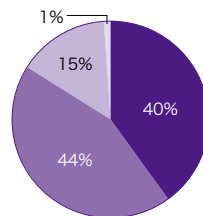
- 自分の意志をもって、人に流されない。
- どんな人に言われても、自分がだめだと思ったら自分はしない。
- 自分の信じる行動をとる。
- 正直なことを言う。正直に話すことが大事。
- 他の人のことも考えることが大切。
- いけないことをしてしまったら、まず謝る。



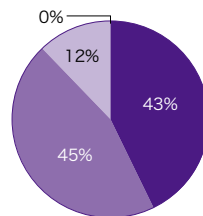
来場者アンケート集計結果

(回答数：84人)

Q 道徳の授業形式によるシンポジウムについて、いかがでしたか。



Q 本シンポジウムは、いじめ防止の基盤となる「自分で考え、自分で判断する」意識を育むために役立つ内容でしたか。



■ 大変満足 ■ 満足 ■ 不満 ■ 大変不満

平成30年度 プロジェクトワーキンググループ・プロジェクト

東大和市では、3年後を見据えて計画的に学校における課題を解決するために、今年度より図のように「学力向上」「英語教育推進」「オリンピック・パラリンピック教育」の3つのプロジェクトを立ち上げております。

「学力向上プロジェクト」では校内研究や研究授業の交流を中心に、教員の指導力を向上させることを通して、児童・生徒の学力向上を目指します。「英語教育推進プロジェクト」では、平成32年度(2020年度)における小学校の外国語教科化に向けて、小・中学校の円滑な接続を図り、英語教育の活性化を目指



英語教育推進プロジェクトワーキンググループ

します。「オリンピック・パラリンピック教育推進プロジェクト」では2020年のオリンピック・パラリンピックの実施に向けて、オリンピック・パラリンピック教育に関する教員の指導力を向上し、児童・生徒が意欲的に活動できるような指導を進めることを目指します。



学力向上プロジェクトワーキンググループ

それぞれのプロジェクトは、小学校の学習指導要領が全面実施される平成32年度(2020年度)までに目標を決めて取り組んでいきます。各学校において子どもたちのために、今まで以上に充実した指導を行い、子どもたちの資質・能力の向上を図ること

ができるように、教育委員会と学校との連携を大切にしていきたいと思います。

平成30年度東大和市立小・中学校プロジェクト

学力向上プロジェクトワーキンググループ

- ◆メンバー：校長2人・副校長1人 指導教諭1人・主幹教諭2人
- ◆実施回数：年3回
- 学力向上プロジェクト委員会の企画
- 学力向上に資する情報発信

英語教育推進プロジェクトワーキンググループ

- ◆メンバー：校長2人・副校長1人 主幹教諭1人・主任教諭2人
- ◆実施回数：年3回
- 英語教育推進プロジェクト委員会の企画
- 英語教育推進に資する情報発信

オリンピック・パラリンピック教育プロジェクトワーキンググループ

- ◆メンバー：校長1人・副校長2人 主幹教諭小2人・主任教諭1人
- ◆実施回数：年3回
- オリンピック・パラリンピック教育推進プロジェクト委員会の企画
- オリンピック・パラリンピック教育に関する情報発信

「教育の日東やまと」プロジェクト

「教育の日東やまと」における効果的な発信方法の検討

学力向上プロジェクト委員会

- ◆メンバー：校長1人・副校長1人 各小・中学校担当教員1人
- ◆実施回数：年2回
- 校内研究の計画、進捗状況、まともに係る情報交換及び協議
- 東大和市の小中一貫教育の推進

英語教育推進プロジェクト委員会

- ◆メンバー：校長1人・副校長1人 各小・中学校担当教員1人
- ◆実施回数：年2回
- 指導方法及び教材に係る情報交換及び協議
- 東大和市の小中一貫教育の推進

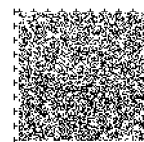
オリンピック・パラリンピック教育プロジェクト委員会

- ◆メンバー：校長1人・副校長1人 各小・中学校担当教員1人
- ◆実施回数：年2回
- オリンピック・パラリンピック教育の情報交換及び協議
- 東大和市の小中一貫教育の推進



オリンピック・パラリンピック教育推進プロジェクトワーキンググループ

プロジェクトワーキンググループ組織図



♣スケジュール♣

新しい学習指導要領は、移行措置期間を経て、
小学校は平成32年度(2020年度)から、中学校は平成33年度(2021年度)から全ての教科等で全面実施となります。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催

	平成29年度 2017年度	平成30年度 2018年度	平成31年度 2019年度	平成32年度 2020年度	平成33年度 2021年度
小学校	移行措置期間			全面実施	
中学校	移行措置期間				全面実施

小・中学校の 学習指導要領が 新しくなります

●学習指導要領とは

全国どここの学校で教育を受けても一定の教育水準を確保するために、各教科等の目標や内容などを文部科学省が定めているものです。時代の変化や子どもたちの状況、社会の要請等を踏まえて概ね10年ごとに改訂しています。



Q1 基本的な考え方についておしえてください。

A1 改訂の基本的な考え方は、主に次の三つです。

- ① 子どもたちが未来社会を切り開く資質・能力を一層確実に育成する。
- ② 確かな学力を育成する。
- ③ 豊かな心や健やかな体を育成する。

資質・能力の三つの柱

- ◆生きて働く「知識・技能」の習得
- ◆未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成
- ◆学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養

Q2 児童・生徒はどのように学びますか？

A2 児童・生徒が資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的(アクティブ)に学び続けることができるようにするために、授業の中で「主体的・対話的で深い学び」(アクティブ・ラーニング)を実現していきます。



主体的な学び	対話的な学び	深い学び
学ぶことに興味や関心を持ち、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる学び	子ども同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める学び	学びの過程の中で、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりする学び



Q3 今回新たに加わった教育内容がありますか？

A3 今回新たに加わるものとしては、主に次の三つがあります。

① 外国語教育の充実

現 ★小学校5・6年生「外国語活動」年間35時間(週1時間)の授業



新 ★小学校3・4年生「外国語活動」年間35時間(週1時間)の授業
★小学校5・6年生「外国語科」年間70時間(週2時間)の授業

- ⇒ 東大和市立小学校では平成31年度より先行実施し、ALT(外国語指導助手)配置時間も増加します。
- ⇒ 中学校では、小学校の外国語活動との円滑な接続を図ります。

外国語教育の充実に伴い、小学校3～6年の年間授業時数が新たに35時間増加します。

③ 情報活用能力の育成(プログラミング教育を含む)

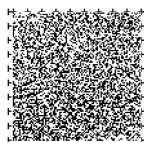
- ⇒ コンピューター等を活用した学習活動を一層充実します。
- ⇒ 小学校では、各教科の授業の中でプログラミングを体験しながら、コンピューターに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考力を身に付ける学習活動を新たに実施します。

例えば

- ◆算数の正多角形の作図において、コンピューターを活用して、正確な繰り返し作業を行うプログラミングを体験
- ◆理科の電気の性質や働きを利用した道具があること捉える学習において、プログラミングを体験

② 道徳の時間を特別の教科として新たに位置付けます

- ⇒ 東大和市立小学校では平成30年度から先行実施しています。中学校では平成31年度から実施します(「特別の教科」として道徳教育の充実を図ります)。
- ⇒ 授業では、道徳的価値を自分事として理解し、多面的・多角的に深く考え、議論します。
- ⇒ 評価は、個々の児童生徒の「学習状況や道徳性に係る成長の様子」を記述式で行います。



東大和市・昭島市 二市合同事業

中学生アメリカン・サマーキャンプ

言葉の壁
なんてない!

東大和市教育委員会では、国際化が進展する中で、生徒が広い視野をもち、異文化を理解し、世界の人々と協調していく態度を身に付けることを目指し、2泊3日の宿泊体験事業「中学生アメリカン・サマーキャンプ」を平成26年度より実施しています。



グループごとに英語のゲームを楽しんでいます。

今年度、当市から中学生30人が参加し、平成30年7月23日(月)から25日(水)までの3日間を、山梨県にある「調布市八ヶ岳少年自然の家」で過ごしました。東京では猛暑日が続いておりましたが、キャンプ地は冷房を使用しなくても快適に過ごせる環境でした。この間、生徒はアメリカ人大学生(アメリカンカウンセラー)と英語だけでコミュニケーションを取りながら英語レッスンやゲーム、スポーツ等を行いました。また、レッスン以外の食事や部屋で過ごす時間も共有することで、好きなアニメや家族の話など日常会話を通じて、友達同士のような関係を築くことができました。初日は、英語で話す恥ずかしさに戸惑い、言葉の壁を感じていた生徒も、最終日には笑顔でコミュニケーションを取れるようになっていました。



英語劇(Camp Skit)の発表

レッスンでは、自己紹介の英語スピーチや、他市の生徒とグループを作り、アメリカンカウンセラーと相談しながら作成した寸劇の発表

生徒の感想
(抜粋)

- アメリカンカウンセラーの話が次第に理解できるようになりました。
- 英語が苦手であり好きじゃなかったけど、とても楽しめた。
- もっと話して英語でのコミュニケーション力を高めたかった。

を行いました。

また、ダンスパーティーやカーニバル、キャンプファイヤー等、異文化体験を楽しみました。

レッスンごとに優秀な生徒には表彰制度があり、当市の生徒は、スピーチ部門で最優秀賞及び優秀賞を受賞しました。さらに、レッスンと生活を通して最も輝いていた生徒に贈られるサンシャイン賞には、昨年も同賞を受賞した当市の生徒が選ばれました。

このキャンプに参加してくれた生徒たちが、世界の舞台で活躍することを期待しています。



キャンプファイヤー(みんなでマシュマロを焼いています)



アメリカンカウンセラーと一緒に集合写真

教育の日東やまと

「拓く」～子どもが自分自身の夢に向かって道を拓いてほしいという願いを込めて～

平成30年10月24日(水)、東大和市民会館ハミングホール大ホールにて、東大和市立小・中学校の教育活動を発信するとともに、学校・地域・保護者がともにこれからの東大和市の教育を考える機会とする「教育の日東やまと」を開催しました。



東大和市の教職員及び地域・保護者の方が参加し、大ホールがほぼ満員になりました。

第1部では、教育委員会と第三小学校、第八小学校、第四中

学校より、今年度の柱である「学力向上」「英語教育推進」「オリンピック・パラリンピック教育推進」の取組について報告をしました。

講演会では、元柔道家でアテネオリンピック銅メダリスト、現在は東京都教育委員会委員である山口香先生に「世界で活躍する人材を育てるために」と題した内容でお話をいただきました。



児童・生徒活動報告会
輝け!児童・生徒の星!

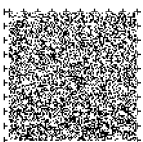
平成30年12月15日(土)、東大和市民会館ハミングホールにて、東大和市立小・中学校に在籍していて、素晴らしい活躍をした児童・生徒の功績を称える児童・生徒活動報告会が行われました。



小学生科学展の発表では、6人の小学生が興味をもった科学的な実験を発表してくれました。



アメリカン・サマーキャンプの発表では、中学生2人が体験したことを英語でスピーチしました。



横断歩道は「走らない、広がらない、ふざけない」「アイコンタクト」

描いたイラストが コロッケに!!

学校給食でイラストコロッケを 提供しました

学校給食を活用した食育推進事業の一環として、東大和市内の小・中学校の給食にイラストコロッケを提供しました。



いつも以上に
楽しい給食でした

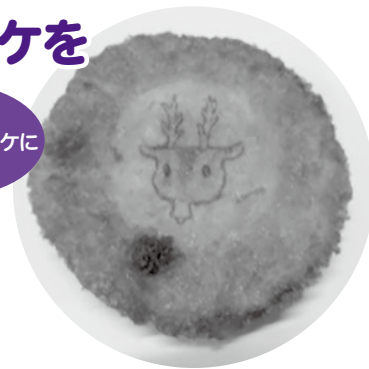


これは、学校と給食センターで協力して、学校給食をより身近なものに感じてもらうとともに、創作意欲の向上などを目的として実施した取組です。

児童・生徒が描いたイラスト（各校において1作品を選出）をコロッケに印刷したものを提供し、イラストを作成した児童・生徒に栄養士から賞状を授与しました。

また、イラストコロッケの対応が困難であった学校へは、市の観光キャラクターうまべえをプリントして提供しました。

素敵な
イラストコロッケに
なりました!



ご協力いただいた東大和市立小・中学校の皆さんありがとうございました。



東大和市立第四中学校の賞状授与の様子

第二次東大和市 学校教育振興基本計画を策定

東大和市教育委員会は、平成31年度から5年間の教育ビジョンとして「第二次東大和市学校教育振興基本計画」を策定しました。本計画では学校・家庭・地域が丸となって児童・生徒を育成することを目的としています。計画は、取り組むべき3つの強調点と9つの柱で構成されており、それぞれについて施策の目標、方向性及び指標（目標値）を示しています。第二次東大和市学校教育振興基本計画は、教育総務課、各小中学校及び市のホームページにて閲覧が可能です。

学校施設のブロック塀等の 改修工事を実施

平成30年6月に発生した大阪府北部を震源とする地震により、大阪府内の小学校のプールの塀が倒壊する事故が発生しました。このことを受け、東大和市では第五小学校、第一中学校及び第二中学校の緊急性のある塀について撤去を実施しました。その後の対応として、現在はフェンスの設置工事を実施しています。

引き続き、第一中学校の西側と第二中学校の西側にある老朽化した塀についても改善に向けて取り組んでいきます。

スクールガード講習会を開催しました

平成30年12月17日（月）にスクールガード講習会を開催しました。

この講習会は、平成24年度より、児童・生徒の交通安全だけでなく、地域の防犯も含めたものとして、開催しています。

今回は、11人のスクールガードの参加があり、スクールガード・リーダーの池田氏から、「子ども達の安全について一防犯・防災の面から」の講演をしていただきました。

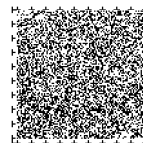
その後、教育総務課から今年度の取り

組みを報告し、最後に皆さんで情報交換を行いました。

また、教育委員会では、新たにスクールガード、学童交通擁護ボランティアとしてご協力していただける方を探しております。各小学校または教育総務課までお問合せください。



感染症予防に『うがい・手洗い』をしましょう。



東大和市立郷土博物館

春のプラネタリウム番組投影中

春のプラネタリウム番組が始まりました



メガスターの星空と一緒にお楽しみください。

春の一般番組

「星の旅～世界編」

KAGAYA 氏の撮影した、世界各地の星空をお楽しみください。日頃は見られない北極圏のオーロラや南半球の星空も紹介します。

投影時間 平日は午後3時から
土・日曜日・祝日は午後1時と3時から
※3月31日(日)と4月21日(日)午後1時は特別番組に変わります。

春のこども番組

「かいけつゾロリ～おうごんの星をさがせ」

児童書でおなじみのゾロリがプラネタリウムに登場します。ご家族でお楽しみください。

投影時間 土・日曜日・祝日の午前11時から
※3月26日(火)から4月5日(金)は平日も午前11時から投影します。

春番組投影期間 6月9日(日)まで(休館日を除く)

休館日：毎週月曜日(4月29日、5月6日は開館)と3月22日、5月7日

観覧料：大人300円、小中学生100円、未就学児は無料

※投影途中での入退場はできません。番組の内容等は、市のホームページや市報をご覧ください。

問合せ 郷土博物館 TEL 042-567-4800

企画展示

「七宝焼きで描く星たち」

夜空の星座は88個。その星座たちとは別に、北海道の各地には、アイヌの人々が考えた星座が伝えられています。北海道の大自然を背景に生活と文化から生まれた星物語をモチーフにした七宝焼きと星の写真を展示します。ワークショップ等も行いますので、ぜひ来場ください。

期間 平成31年3月23日(土)から5月19日(日)

時間 午前9時から午後5時

会場 郷土博物館企画展示室

休館日：毎週月曜日(4月29日、5月6日は開館)と5月7日



オリオン座と3人のカムイ

ヒガシヤマト 未来大学

オープンキャンパス

まちを巻き込む コミュニティの形を考える日

シブヤ大学の元京さんがやってくる！よちよちと歩みだしたヒガシヤマト未来大学が「わくわくを生む」ことをみんなで考えます。ぜひ、その「みんな」の一員になりませんか。

各公民館を拠点にチーム毎に講座を実施しました。特色があり、ワークショップ形式で参加者の皆さんとアイデアを創り上げて、終了後にプロジェクトへ移行した講座もあります。来年度のさらなる発展を目指しています。

申込不要です。気軽に遊びに来てください。

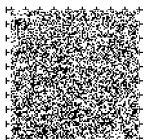
日時 平成31年3月23日(土) 午後1時～4時

場所 市役所会議棟

講師 元京 泰明氏(NPO法人シブヤ大学学長)
萩原 修氏(明星大学教授デザイン学部教授)

内容 基調講演「シブヤ大学ははじめの一步～まちを巻き込むコミュニティ～」(元京氏)
トークセッション&質疑応答(萩原氏 他)
各チームによる今年度の報告

問合せ 中央公民館 TEL 042-564-2451 FAX 042-563-5934



平成30年12月～平成31年2月 教育委員会の主な可決議案

- 平成30年度東大和市一般会計補正予算(第3号)(教育費)について
●第二次東大和市学校教育振興基本計画(案)について
●平成31年度東大和市学校給食事業計画(案)及び平成31年度東大和市学校給食会計予算(案)の諮問について
●平成31年度東大和市教育委員会の基本方針及び主要施策について
●東大和市特別支援教室実施方針(案)について
●平成31年度東大和市学校給食事業計画(案)及び平成31年度東大和市学校給食会計予算(案)の承認について
●東大和市学校給食センター給食費に関する規則の一部を改正する規則

児童・生徒数/31.2.1現在 (単位：人)

Table with 4 columns: Gender, School Type, Current Count, Previous Year Count. Rows for Male, Female, and Total counts for Elementary and Middle schools.



計 前年同月比
男 3,330 8
女 3,234 △37
計 6,564 △29

